

2023年ブロンテ・デイ公開講座プログラム

リーズ土産として木製の兵隊人形12体を父親のパトリック・ブロンテが子どもたちに与えた1826年6月5日からブロンテ文学が始まったとされています。この6月5日に近い6月の第1土曜日を日本ブロンテ協会は、本国イギリスの協会と歩調をあわせブロンテ・デイとし、専門家のみならず一般愛読者も集い、ブロンテ文学を愉しみ、味わうことにしています。本講座はその行事の一つであり、ブロンテ愛好者であれば十分愉しめる講座となっております。

日時： 2023年6月3日(土) 14時00分～16時10分

会場： 早稲田大学戸山キャンパス 38号館 AV教室1

受付： 13:40

司会： 慶應義塾大学教授 永井 容子

開会の辞： 14:00 大東文化大学名誉教授 栗栖 美知子

講演Ⅰ： 14:05～15:00

演題：異国の地で監禁される妻——『ジェイン・エア』のバーサ・メースンの体験を考察する——

神戸市看護大学教授 山内 理恵

・西インド諸島出身のクレオール女性、バーサは、夫ロチェスターによって英国のソーンフィールド邸に連れて来られ、屋根裏部屋に監禁されます。本研究では、異国での監禁という体験がバーサに与えた精神的な影響について考えます。

休憩： 10分

講演Ⅱ： 15:10～16:05

演題：仕事を持つ女たち——『自制』のローラ、『オドンネル』のシャーロット、『ワイルドフェル・ホールの借家人』のヘレン

東北大学名誉教授 鈴木 美津子

・『ワイルドフェル・ホールの借家人』の主人公ヘレンは、当時の小説においては稀な、絵を売ることによって生計を立てている既婚女性である。本講演では、ヘレンがロマン主義時代の小説にしばしば見受けられる「仕事を持つ女」の系譜に連なることを検証する。

閉会の辞： 16：05

青山学院大学名誉教授 橋本 清一

■受講対象者： 協会員、ブロンテ文学に興味のある方、一般の方、学生

■受講料： 無料

■申込（参加登録）方法： 日本ブロンテ協会ホームページ (<http://brontesociety.jp/>) 内にリンクのあるオンラインフォームで、4月28日（金）から5月26日（金）までに参加をお申し込みください。（期日は厳守）

■主催： 日本ブロンテ協会

社会状況により開催形態を急遽変更する場合があります。最新情報を協会ホームページにてご確認ください。

皆様お誘いあわせの上奮ってご参加ください。